



めざす地域像

牧の台小地域は、緑や自然を身近に感じながら生活することができ、また、公園や自治会館、コミュニティセンターなど公共施設の整備が行き届いた閑静な住宅地です。また、能勢電鉄やバスにより、都心へのアクセスも優れています。

地域では、夢ナリエ、盆踊り、文化祭、体育祭など多様なイベントをはじめ、高齢者福祉等の取り組みも活発に行われています。

しかし、住宅団地の開発から約40年経過した現在、高齢化などによる課題が顕著に表れてきており、対応が求められています。

今後は、地域住民が世代を越えてつながり、高齢者が暮らしやすく、子どもが健やかに育つような、気持ちのゆとりとやすらぎがある快適な地域を創ります。

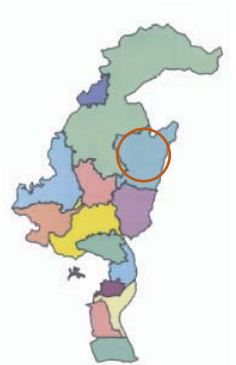
現状 1 地域の現況と人口推計

(1) 位置と地勢

市の北東部に位置する牧の台小地域は、昭和40年代前半から戸建て住宅を中心に開発された閑静な住宅地です。

能勢電鉄山下駅、畦野駅、笹部駅があるほか、地域の西側には国道173号が通っており、市内外への主要なアクセス機能を果たしています。

また、畦野駅周辺の商業施設や主要道路沿いの商店などが日常生活の買い回り拠点となっています。



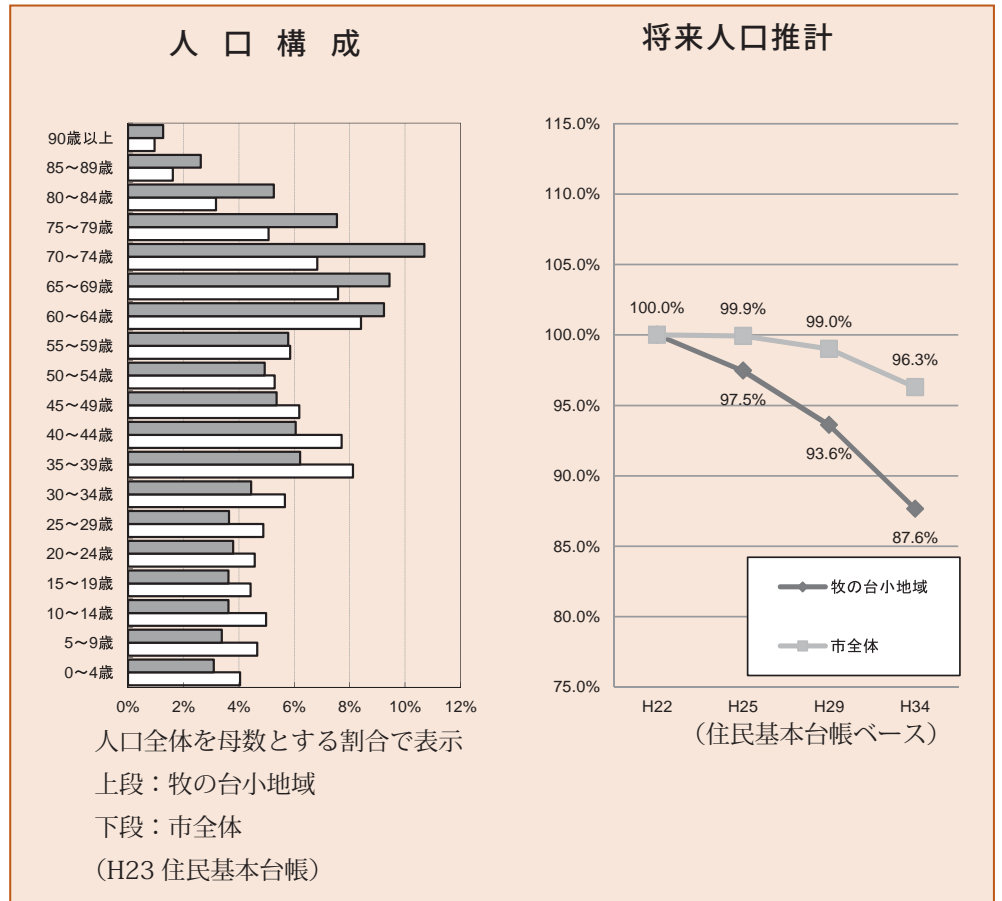
(2) 人口と世帯

人口は、平成17年の11,647人から平成22年の11,456人まで5年間で1.6%減少しました（全市では、0.1%増加しています）。

年齢別人口割合は、70～74歳が最も多く、続いて65～69歳が多くなっています。

世帯数は、平成18年が4,542世帯、平成23年が4,758世帯と5年間で4.8%増加しています（全市では6%増加しています）。

地域の将来人口を推計すると、10年後の平成34年にはおおむね10,000人となり、12%ほど少なくなる可能性があります。【右下図】



現状 2 地域の主な資源・地域活動と意識

(1) 地域の主な資源・地域活動

①主な資源



②主な地域活動

- ・ 読み聞かせ
- ・ 牧の台みどりの少年団
- ・ 公園除草
- ・ 大和秋祭り
- ・ 夢ナリエ
- ・ 牧小児童登下校見守り
- ・ 牧っ子クラブ
- ・ 配食サービス
- ・ 認知症サポーター養成講座
- ・ まちかどギャラリー
- ・ 三世代交流まつり
- ・ 親子デイキャンプ

(2) 市民意識調査 (牧の台小地域集計)

①定住意向

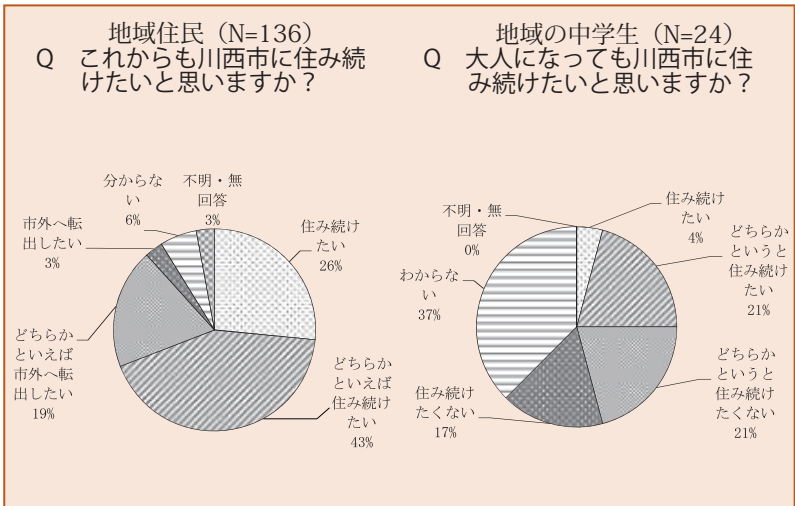
「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた地域住民は、69%となっています。

一方で、中学生は、25%となりました。

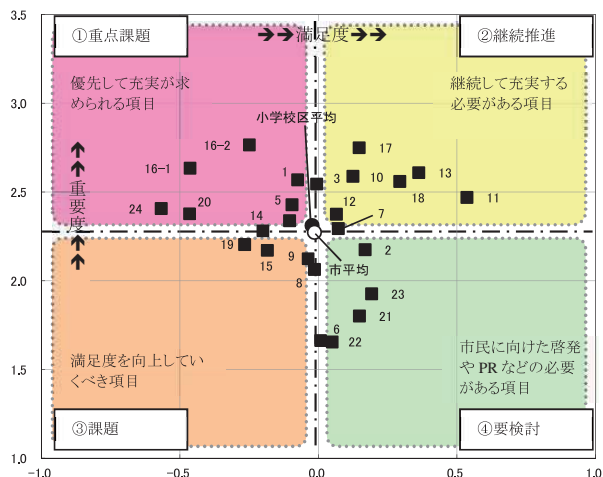
②施策の重要度・満足度

重点課題として「公共交通の利便性向上」「交通施設の整備」が挙げられています。

また、継続推進すべきこととして「防災力の向上」「上水道の安定供給」などが挙げられています。



①重点課題	②継続推進
1.健康づくりの支援	3.高齢者の支援
4.障がい者の支援	7.学校教育環境の整備
5.子育て支援	10.環境の保全
14.都市計画の推進	11.省資源・リサイクル
16-1.交通施設の整備	12.公園・みどりの整備
16-2.公共交通の利便性向上	13.上水道の安定供給
20.労働環境の向上	17.防災力の向上
24.効率的な行財政の運営	18.生活安全の推進
③課題	④要検討
9.生涯学習・文化の振興	2.地域福祉の推進
15.市街地整備	6.低所得者福祉
19.産業の振興	8.青少年の育成
	21.観光の振興
	22.共感・共生のまちづくり
	23.参画と協働のまちづくりの推進



地域の課題とありたい姿

地域別懇談会で議論された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された意見をもとに、牧の台小地域のありたい姿と課題を生活のテーマ（第5次総合計画における「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」の4つ）に整理・集約すると、次のようになります。

暮らし

◆…主な課題…◆

- ・商店街や駅前などにおいて店舗が減少しているため、身近なスーパー等の品揃えを充実させるなど買い物環境の整備が必要である
- ・バス路線や本数が少ないため、特に駅から遠い地域での不便さを解消する必要がある
- ・空き地・空き家問題への対応や、利活用する際の障壁などを解消することが必要である

◆…地域のありたい姿…◆

- ・商店と地域住民が一緒になって、買い物の場として魅力的な駅前をつくり出し盛り上げていくまちにしたい

安全安心

◆…主な課題…◆

- ・ひとり暮らしの高齢者の増加に対する懸念が高まる中、高齢者が集まる場に、より多くの人に参加してもらう必要がある
- ・夜間における防犯対策として、防犯灯の設置が必要である
- ・自転車の運転の仕方や、ゴミの集積所の管理、ペットの管理など、身近なマナーを守っていく必要がある

◆…地域のありたい姿…◆

- ・高齢になっても、買い物等で困ることがなく快適に生活でき、見守りやネットワークが行き届いた、安心して生活できるまちにしたい
- ・空き地・空き家に係る防犯上の対策や防犯灯の増設など必要な整備を行いながら、安全、安心、快適に生活していけるまちにしたい
- ・自然に囲まれのんびりでき、気持ちにゆとりを持って、マナーを守れるまちにしたい

生きがい

◆…主な課題…◆

- ・小さな子ども向けの遊具や暑さ対策のための日陰の設置など、公園をはじめとする子育て環境の整備が必要である
- ・地域で子育ての相談や情報の共有ができる場所が必要である

◆…地域のありたい姿…◆

- ・緑が豊かで、公園の整備がきちんとできており、子どもが健やかに暮らせるまちにしたい
- ・地域で登下校を見守ることや、子どもを叱ってくれるようなソフトやハード両面の教育環境が整っているまちにしたい
- ・先輩ママから後輩ママへ子育て支援のリレーが続くまちにしたい
- ・元気であいさつする子どもがいるまちにしたい

つながり

◆…主な課題…◆

- ・地域活動や組織の新規参加者が不足してきていること、特に子育てなどに忙しい若い世代がなかなか参加してくれていないことが問題である
- ・PTA 活動を敬遠するなど同世代の関係が希薄になっているため、地域活動への呼びかけや参加促進が必要である
- ・子ども同士及び年齢層を超えた交流が少ない

◆…地域のありたい姿…◆

- ・イベントなどを通じ、子どもから高齢者までが世代を超えて交流し、近所で仲良くにこやかに生活できるまちにしたい
- ・困った時には互いに助け合えるまちにしたい

地域のありたい姿を実現するための取り組み

地域別懇談会で検討された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された、牧の台小地域のありたい姿を実現するための地域の取り組み内容を整理すると、次のようになります。

暮らし

- ・地域の魅力を発信するため、市内の各地域がゆるキャラをつくり、年 1 回集合してサミットを実施

安全安心

- ・隣近所が留守にする時積極的に知らせる
- ・高齢者が集える場の確保と高齢者が楽しく暮らせるような環境の整備
- ・認知症徘徊防止 SOS ネットワーク*の確立
- ・家の周りを掃除する時にもう少しだけ広い範囲を掃除するよう心がける
- ・公園、みはらし緑地帯の清掃デーの実施

生きがい

- ・子どもが集まる場所の提供
- ・子育てグループが提携し、子育てシステムを構築

つながり

- ・あいさつや声かけ運動の実施
- ・世代間交流ができるハイキングや忘年会、キャンプなどのイベントの実施
- ・地域活動において若い人が参加しやすい分野をつくる
- ・高齢者の昔の体験談を子どもたちに話す機会をつくる

市の主な関連する施策(参考)

- ・施策 8 総合的な交通環境の向上を図ります
- ・施策 10 ふるさと団地の再生を推進します
- ・施策 11 商工業を振興します
- ・施策 15 観光資源を発掘・開発・PR し、知名度を高めます
- ・施策 21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します
- ・施策 22 高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します
- ・施策 27 生活安全の向上を図ります
- ・施策 28 豊かな自然環境を次世代へ継承します
- ・施策 29 快適な生活環境を守ります
- ・施策 31 子どもの健やかな育ちを実現します
- ・施策 32 明るく楽しい子育てを支援します
- ・施策 35 こころ豊かな児童・生徒を育みます
- ・施策 44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します